



Kitakyushu
SDGs



令和4年度6月補正予算案の概要

令和4年6月
北九州市

新型コロナウイルス感染症に対応する本市の支援策

79.5億円

※は別に債務負担行為あり

単位:千円

総合緊急対策に基づく支援 23.6億円

生活者支援 16.4億円

- 給食食材価格高騰対応事業 (529,100)
- 商店街プレミアム付商品券発行支援事業 (350,000)
- 公共施設へのおでかけ応援事業 (254,000)
- 一般家庭向け省エネ家電普及促進事業 (472,000)
- 子ども食堂への地元水産物販売支援事業 (13,200)
- 生活困窮者支援に取り組む団体等支援事業 (18,000)

事業者支援 7.2億円

- 中小企業融資損失補償 (275,400)
- 事業再構築補助金活用促進事業 (50,000)
- 生産性向上のためのDX・デジタル化推進事業 (80,000)
- 中小企業の省エネを促す緊急経済対策事業 (320,000)

検査・医療提供体制の確保、市民への支援等 55.9億円

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業(3,798,000)
- 保健所機能強化事業(274,000)
- 産前産後子育てヘルパー派遣事業(20,000)
- 自宅療養者支援事業(975,000)
- 福祉施設等に対する新型コロナウイルス感染症検査支援事業(500,000)
- 教育用タブレット端末整備(追加整備)(20,600)※

6月補正で実施するその他の事業 23.6億円

主な事業

- 商店街等における火災及び自然災害からの復興支援事業 (38,400)
- 国の内示に伴う道路・公園等の整備 (890,500)
- 119番自動火災通報システム設置事業 (5,000)
- 小倉北特別支援学校等整備事業 (73,500) ※
- 子ども食堂開設促進事業 (2,500)
- 門司港地域複合公共施設整備事業 (1,215,000) ※
- コンサートinミクスタ支援事業 (23,000)

新規

給食食材価格高騰対応事業

5.3億円

子育て世帯の支援として、市立学校（小学校・中学校・特別支援学校）及び保育所等（認定こども園・認可外保育施設を含む）の給食費の物価高騰分に相当する費用を補助



新規

公共施設へのおでかけ応援事業 2.5億円

物価高騰等に直面する市民をレジャーやレクリエーションの面からの支援や、市民の外出機会創出による地域経済の活性化を図るため、主に夏休み期間中の公共施設の入場料等を無料化



【主な無料化対象施設】

小倉城、子育てふれあい交流プラザ、漫画ミュージアム、
到津の森公園、アドベンチャープール、美術館、いのちのたび博物館、
皿倉ケーブルカー、グリーンパーク、子どもの館 など

拡充 商店街プレミアム付商品券発行支援事業 3.5億円

物価高騰に対する支援として、福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援



新規 一般家庭向け省エネ家電普及促進事業 4.7億円

家庭における省エネ対策と市民生活の支援を目的として、省エネ型の冷蔵庫・テレビ・エアコンの購入者（一般家庭）に対し、購入費用の一部を商品券として還元

省エネ型冷蔵庫、テレビ、エアコンを購入した方に、デジタル商品券最大12,000円分または商品券最大10,000円分を配布



拡充

生産性向上のためのDX・デジタル化 推進事業 80百万円

市内企業のDXを推進するため、人材育成やDX実践に向けた市内中小企業等への補助を実施



新規

事業再構築補助金活用促進事業 50百万円

売上が減少した中小企業等の新分野展開、業態転換等を対象とする国の事業再構築補助金の活用を促進するため、申請企業に対し、補助金申請に係る費用を助成

新規

中小企業の省エネを促す緊急経済対策事業 3.2億円

電気料金を含む物価高騰に直面する市内中小企業に対し、省エネ設備等の導入費用を補助



拡充

新型コロナウイルスワクチン接種体制 確保事業

38億円

ワクチン接種について、追加接種（4回目接種）を迅速かつ円滑に推進

拡充

自宅療養者支援事業

9.8億円

自宅療養者に必要となる食料品・日用品等の支援や、パルスオキシメーター等の貸与のほか、医療支援体制を整備

拡充

保健所機能強化事業

2.7億円

感染者への対応向上や状況変化に即応できる体制づくりを行うため、保健所業務の外部委託化を促進

拡充

福祉施設等に対する新型コロナウイルス 感染症検査支援事業

5億円

集団感染リスクのある高齢者施設、障害者施設、保育所、学校等に配布する抗原検査キットを確保



新規 産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業

20百万円

新型コロナの影響により、家族などから家事や育児の支援が受けられない子育て世帯を支援するため、市がヘルパーを派遣

1回2時間以内、1日2回、最大20回まで(多胎児、多子は40回)
初回無料、1時間当たり1,000円で利用可能



拡充 教育用タブレット端末整備(追加整備)

21百万円

1人1台タブレット端末を活用した学習活動を円滑に実施するため、オンライン配信用端末及び故障等補充端末の整備



新規

商店街等における火災及び自然災害からの 再開支援事業 **39百万円**

旦過地区火災の被災事業者を支援するため、事業再開に必要な店舗移転経費や賃借料を補助



拡充

119番自動火災通報システム設置事業 **5百万円**

旦過市場における大規模火災の発生を受け、木造市場等の火災予防を図るため、119番自動火災通報システムを追加設置



拡充 小倉北特別支援学校等整備事業 74百万円

令和7年度の供用開始に向けた、東芝北九州工場跡地における小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園の建替え工事に係る実施設計等



拡充 門司港地域複合公共施設整備事業 12.2億円

令和9年度の供用開始に向けた、門司港地域複合公共施設の実実施設計、事業用地の購入等



新規 コンサートinミクスタ支援事業 23百万円

ミクニワールドスタジアム北九州で開催される
北九州ロックフェスティバル2022（仮称）の開催支援



参考：6月補正予算の規模と財源内訳

6月補正予算計上額(一般会計)	91.5億円
うち新型コロナウイルスに対する本市の支援策	79.5億円
6月補正で必要な一般財源	31.9億円
【財源内訳】	
新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金	26億円
財源調整用基金の取崩し	5.9億円